

本当の 価値とは!?



岡田 一水

OKADA Katsumi

株式会社高知銀行
地域連携ビジネスサポート部
(高知県高知市)

私は、実家が果樹園を経営していることもあり、小さい頃から農業と縁があります。農業は自然環境との共存が避けられないため、特に、収穫シーズンに台風が発生すると、その進路が気になって仕方がありません。農業は年間を通してさまざまな苦勞がありますが、業務上において、その苦勞を農業者から聞くことができても体感する機会は少ないため、私は少しでも多く現場に訪問し話を聞くようにしています。そこには新たな発見があり、新たな価値の創造につながっていく可能性を見いだすことができます。それは、「農業」に限らず「林業」や「水産業」にとっても同様だと思います。

以前、とある海面養殖事業者の事業性評価をおこなうため訪問した

おかだ かつみ

1972年高知県生まれ。高知銀行に入行、2008年に本部へ異動となり、農林水産業、再生可能エネルギー、ABLなどを担当。

際のことです。財務面の数値などについて確認する傍ら、事業実態把握のため実際に養殖場所にも訪問しました。そこで一連の作業を視察しながらさまざまな疑問を掘り下げていくことで、財務諸表には表

きます。

私は、一次産業従事者にとって、その生産物の価値が認められることは大切なことであると考えています。しかし一次産業の本当の価値とは、「一次産業」そのものであると



©石橋 睦美

れない事業者のいけすや飼育方法へのこだわり、そして事業への熱意を肌で感じる事ができ、そこに大きな価値を見つけることができました。

本当に伝えるべき価値は何なのか、私は常に事業者と共に考えるようにしています。一次産業は本当に奥が深く、自分の視野を広げれば広げるほど、新しい出会いや発見があります。知らない世界だからこそ学ぶことも多く、新しい知識への挑戦を続けることによって、結果的に大きなつながりの輪へと広がって

も考えています。「一次産業」の保有している価値をより多くの人に共通価値として伝えることが必要です。そのために、作物などを育成することに対する支援だけではなく、一次産業従事者と共に未来を創り出すための支援を今後も続けていきたいと思っています。さらには生産者を起点として、その生産者にかかわる多くの事業者や個人など、より大きな枠組みを考え知ること、その生産者と、取り巻く環境の発展につながるような価値創造に挑戦していきたいと考えています。 **F**



農業経営アドバイザーは農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的的確なアドバイスを実践する専門家です。2005年、農業経営の発展に寄与することを目的に日本公庫が資格制度を創設しました。本コーナーは、上級資格である上級農業経営アドバイザーが執筆しています。